

## ◆◆◆ 気象振興協議会第一部の部会長が交替

平成14年1月に発足した気象振興協議会は、民間気象事業者が主体となって気象事業の振興を図るため各種の活動をしております。そのなかでも、気象庁から提供される気象情報の円滑な流通や、気象業務の変更に関する説明など、気象庁と民間気象事業者との意見交換は重要な活動の一つです。

協議会には、気象庁から提供されるデータに関し、気象庁からの説明や会員相互の意見交換の場として第一部会が設置され、平均して2か月に1回程度開催されています。

第一部会の部会長は部会の議長を担っていただいております。発足以来ウェザーニューズ社にご尽力いただいております。

去る7月の定期総会で、新たに一般財団法人日本気象協会小林堅吾理事長が第一部会長に選任され、去る8月27日に開催された第一部会から議長をお務めいただいております。

当日は指定河川洪水予報の発表形式の変更など気象業務の時代に即応した変更に関する説明があり、質問事項の整理や気象庁に対する質疑の再確認、宿題の指摘など、部会の議事を進められました。



(気象振興協議会事務局 財団法人気象業務支援センター振興部)